

日系人と技能実習生の就労実態等について

本調査研究は、技能実習生を受け入れている企業にその活用実態、経営状態や日系人、日本人従業員の働き方をからめて調査を実施した。

その結果、技能実習生と日系人社員の活用は積極的に進められており、仕事の量的な面にとどまらず、質的段取り、安全管理、品質管理等も担えるレベルに達している。また優秀な技能実習生は、日系人社員以上に技術・技能を学ぶスピードが速いこと等の知見を得た。

研究委員会メンバー

(座 長)今 野 浩一郎	学習院大学 経済学部 教授
(委 員)大 木 栄 一	日本労働研究機構 副主任研究員
田 口 和 雄	(財)機械振興協会経済研究所 研究員
西 岡 由 美	学習院大学大学院 経営学研究科博士後期課程
藤 波 美 帆	学習院大学大学院 経営学研究科博士後期課程
(事務局)佐 藤 昭 吉	(財)雇用開発センター 常務理事
井 上 ナホミ	(財)雇用開発センター 研究調査部長
荒 井 直 子	(財)雇用開発センター 研究調査部

目 次

第Ⅰ部 総論 —— 要約と結論 ——
第Ⅱ部 技能実習生の活用実態に関する調査結果
第1章 調査概要
第2章 企業概要
第3章 技能実習事業の概要
第4章 最も優秀な技能実習生について
第5章 最も優秀な技能実習生の仕事と能力と育成
第6章 日系人社員の活用実態
第Ⅲ部 ヒアリング事例
付属資料 アンケート調査票

調査の対象及び内容

「技能実習生の活用実態に関する調査」(企業調査)

調査時期 : 平成 14 年 12 月

調査対象 : 技能実習生を受け入れている企業、並びに日系人を雇用している企業、計 167 社 (通信郵送調査)

回 収 数 : 67 社 (有効回収率 40.1%)

調査内容 : 技能実習生及び日系人の雇用の動向、就労実態、活用実態等